進水式を阻止せんと 六百名の職工騷擾す

瓦礫を投じ技師を傷く 暴行者六名現場より引致

（大阪鐵工所造船部職工の要求爭議）

大阪鐵工所の紛擾に關し職工側は二十九日夜更に實行委員四名をして會社側に對し交渉せしむる所あり會社側にては交渉條件の「第三項」に關し

イ、奬勵金は職工數の五割を廢し今六割支給の事

ロ、目下研究中の消耗品節約奬勵法を實施する事

の回答を與へたるも職工側は滿足せず同夜某所に集合協議し今一日は一同定時入場せるが造船部職工は作業を開始せず處々に集團せるより豫て斯くあるべしと豫期したる會社側は午後より擧行すべき米船イースタン・セイラー號の進水式に支障なからしめんと所員を派遣し折柄集團せる約五十名の職工に對し解散を命じたるに職工は之を肯ぜず爭論を始め中には喊聲を揚ぐる者あり忽ち造船部職工全部六百餘名は大集團となり中には瓦礫を投ずるものあり騷擾中之を制止せんとせる八谷技師は職工の投ぜる石にて負傷するに至れり、斯くて罷業せる職工は十一時半更に事務所前に押寄せたるが折柄報に接し朝日橋署より急行せる警官六十餘名は一同を警戒し大木署長は當所に迎ちて「諸君は速に靜穩に復し一先づ退散し交渉は代表者を以て開始すべし」と説諭する所あり職工側より二十名の代表者を出して署長と會見する事となり一同は正午前漸く退場せり

要求は飽迄續ける 實行委員談

罷業に關し職工側一委員は語る「吾々は今後も飽迄要求を續ける筈で最初から出來るだけ靜穩に交渉する考へであつたが他の職工が吾々委員の命を聞かず亂暴を初めたので致方ない會社は仕事をし乍ら交渉したら何うだと云ふのだが是迄の例に依ると何時も駄目なので遂に今日の樣な事になつたのだ云々」尚ほ紛擾中原動部の硝子を破壞したる暴行者中村福太郎、馬場德一、早川正次郎外三名引致されたり

最後の利益船 コレからは皆損が行く さう〳〵要求は容れられない

職工所水野職工係長は語る「職工側は會社に對して彼等の生活保障をして呉れと云つて居ますが好景氣の間なれば兎も角會社でも利益のあるものは此イースタン・セイラーが最後で次の船は全部缺損になる位ですからさう〳〵職工側の要求のみを入れることも出來ず、要求は要求として仕事だけはして呉れ、さすれば會社でも出來る丈十分な方法を取るからと云つて宥めたのですが聞入れず丁度進水式と云ふ會社の弱身につけ込んで呼び彼樣なことを仕出かしたのです併し此話は全部大木署長が仲裁して下さる筈で私の方では總て同署長にお願ひして居ります、尚ほ今日は市内各小學校中學校生徒千五百名に對し進水式觀覽の爲め請待して居りましたが不穩な樣ですから何んな間違を惹起すかも知れぬと全部お斷りして只お斷りするより前に出發された府立天王寺中學校及び福島職工學校の生徒五百名のみに參觀してもらひました」

尚ほ會社は此日 臨時休業をなし 進水終る

天保山分工場より職工を送つて進水式のみを擧行せり

造船部職工の騷擾に關しては前夜職工側委員と會見の際委員は「吾々の要求容れられざる時は今後職工の行動に對して實行委員は鎭撫し能はざるべし」と告げたれば會社は斯くあるべきを承知し職工の騷ぎが始まると同時に天保山分工場より職工を急派し午後四時よりイースタン・セイラー號の進水式を擧行せり

朝鮮全土の大警戒

注目された獨立騷ぎ記念日 極めて平穩無事

三月一日の「獨立騷ぎ記念日」の不穩行爲に就ては總督府警務局より全鮮に亙り蟻の這ひ出る隙間もなき迄に嚴戒しつゝあり、京城市内は前夜來千葉第三部長以下の警官一千二百餘名にて九隊を編成し警戒しつゝあり此の間軍隊にても各所に兵員を派遣し偵邏し一日夜明に至るまでは幸ひにして何事もなく經過し得たり、一日朝は更に市内隈なく警察官隊を配置して嚴戒せるが鐘路通目拔きの場所其の他鮮人商賈は深く戸を閉鎖して商なはず所轄警察署は若し正午に至るも開店せざる時は戸々に警官を派して説諭開店せしむる方針にして嚴戒を繼續しつゝあり又梨花學校其の他の學校も休校するに至らず正午迄は無事經過したれば一日の「獨立騷ぎ記念日」は無事なるべし（京城電報）

騷擾一周年の日に 日比谷公園で演説

朝鮮學生五十三名 屋外集合の廉で引致さる

三月一日は朝鮮騷擾事件の一周年に相當し在京の鮮人一同は正午神田區西小川町朝鮮基督教靑年會館に同記念日の名に於て集會を催したるが西神田署は同會を不穩と認め間もなく解散を命じたるより一同は申合せ其の足にて日比谷公園音樂堂前廣場に集合し萬歲を高唱し引續き演説會を開かんとせしを再び日比谷署の手にて解散を命ぜられ學生を主とする男女五十三名は許可なくして屋外集會を催せし廉により三時半日比谷署に引致し嚴重なる取調を受けつゝあり（東京電話）

不良職工一千名を 順次解雇處分せん

一日の製鐵所は前日と異らず主腦機關の作業を繼續し居れるが一日入所職工は二千百四十四名、職夫三百八十五名、人夫五百三十八名にて何れも靜肅に就業し居れるが一般職工は愈二日午前六時より全部一齊に入所の事となりたるより何れも準備し女房連も亦暫く愁眉を開き居れり、一方實行委員會は二十九日を以て解散し各委員は殘務整理委員となりて諸般の殘務を處理し居れるが今回の事件に於て製鐵所側は少くとも不良職工と目する約千名の職工を解雇する由非公式に發表したる爲め整理委員は處分の自己の身邊に迫らんとする形勢あるを見て狼狽し居れり

續々檢擧 百數十名

八幡警察署にては今回の製鐵所罷工騷ぎを機とし不良職工及煽動者と目すべきものを全部處分することとし一日午前十時迄に犯罪嫌疑者その他職工九十五名を召喚取調中なるが更に二日迄に百五六十名を召致すべく極力偵査中なり

石炭輸送 門司鐵道

管理局にては八幡製鐵所の同盟罷業開始と共に八幡製鐵所行き一日三百車三千噸の石炭輸送を中止し居たるが二日職工が一齊就業することになりたるより同日朝より以前の如く輸送を復活すべしと（八幡電話）

蒙古耐寒行軍隊 愈出發す

【鄭家屯來電】第十六師團騎兵隊を中心とせる東蒙古耐寒行軍隊は廿九日午前七時志岐師團長の檢閲を受け高田參謀少佐指揮の下に洮南府に向け出發せり（奉天特電二十九日發）

二機行方を失ふ

一機は海上に墜落 一機は全く消息なし

航空省の發表に依れば二月二十一日午後チエスターを出發ダブリン方面に向ひたる航空隊附飛行機三臺は行方不明となれり右三機は威斯の上空を飛行せることを目撃されたるも爾來消息なく其の後に至り汽船ノーフオークレンヂ號より無線電信にて飛行機一臺同日午後シシリー島の西南八十五浬の海上に墜落したりとの報告あり同日午後救命艇を派遣したるも風浪甚だしきため操縱者を救助する能はざりしと航空省は該難破飛行機が行方不明となりし三機の一つにして操縱者が方向を失したるものと見做し居れり、殘餘の二機については今尙消息なし尙同省の發表によれば阿弗利加縱斷飛行のヴイツカース・ヴイミー機は二十五日午後五時十五分無事アツスアンに到着せりと（國際倫敦二十六日發）

重大使命を帶びて

哈爾賓から來たマ大尉 見せ金不足で上陸拒絶

一日朝入港の關釜聯絡船博愛丸にて西伯利より下關に着したるエヌ・マシユコフ（二十）と稱する露國の海軍大尉あり同人は在哈爾賓總領事の査證及び東京迄の乘車券を所持し居れるも規定の見せ金を有せず僅に邦貨四百餘圓を所持し居れるのみなるより下關沖に張り込める山口縣警察部員は直に同人の上陸を拒絶し取調中なるが同大尉は在哈爾賓海軍中將トロフスキー氏より駐日露國大使及びズドロフ海軍中將宛の親展書を所持し頻に其東上を急ぎ居れり或はある重大使命を帶して來朝せるものにあらずやと（下關電話）

實際の米國統治者は ウイルソン夫人

目下夫君大統領が病氣なので 閣僚の肝煎までする

米國諸新聞の斷言する所によれば大統領ウイルソン氏夫人はウイル

春と婦人

カンバスに向つて（三）

增田信一氏の令孃敏子

十歲位から研究＝樟蔭女學生＝お母さんとの問答＝音樂と文學も＝多分朱葉會に出品

增田ビルブローカーの增田信一氏令孃敏子（十五）さんは十歲頃から山下繁雄畫伯について洋畫を勉強して居られる、「今度の朱葉會にぜひ御出品を……」と高安やす子夫人から

お勸めを受けた

お母樣の喜久子夫人「出品が具合よく纏みとなつて呉れゝばよいがお上手な奧樣方の中に加はり得た事に若しや慢心を起すやうな事があつては大變」と大分心配された、「前の展覽會に出した繪を出す？」と聞くと「あれはお母樣が

勝手にお出しに

なつたのですから、今度もあれを御出しならばどうぞ御隨意……」といひかけたが「ちよつとお見せ下さい」といつて見て「こんなもの仕方がありませんワ」と羨れた、「それぢや新しいのを描いたら」といふと少しムツとして「朱葉會に出す爲に描くのですか」と聞き返した、喜久子夫人の胸には

この言葉が強く

響いて隨分考へたらしい「私は娘のかうした心を大事にかばつてやりたいと思ひます、出す出さぬは當人の自由です、音樂を仕始めたり、また此頃は文章の方にも興味が出たりして居りますから繪の方は如何かと思ひましたが、今日あたりはどうやら出す氣持になつたやうです、濱寺の宅に二三度蹴り

美しい庭の花を

でも見たらばもつと氣が進んで繪筆を動かすでせう……」と語つた、因に敏子孃は目下樟蔭女學校に通學中である＝寫眞は敏子孃＝

株式後場手口

夕刊所報後の株式は大體に於て利喰押しとも云ふべき商狀にして乙部に於ては前場先物に比し [illegible] 八圓六十錢方高 [illegible] に過ぎざりしため新舊殆ど同値となり東紡は前場中に先物を設つて新株落ちとして立會たるため後場は取引を中止し合同は當三圓九十錢高、新 [illegible]

▲重なる手口は大株は細字、加賀、辭(中期)德田(深淺)外マバラの指値賣り、山内、森下、淺野、橋本、松井買ひ▲鐘紡は萩野及石井の賣近、山内の乘換へ [illegible] なりき

東株新はマバラ賣り橋本買ひの手口

綿絲引 [illegible] 氣配

[illegible] 七圓、七十八、九月物六百六十五圓處を唱へ正午に比し更に二圓高を示せり而も定期高に比しては伸び惱める [illegible] が此は要するに [illegible]

口、尾本二十五、福井二十枚▲四限（賣）伊藤秀四十、山田、日比野三十、梶井、松村、井上二十五枚（買）[illegible]

▲六限 伊藤秀 [illegible] 二十五 [illegible]